

薬だっ 知識

皆さん、薬が効かなくなる「薬剤耐性（AMR）」をご存知でしょうか。AMRとは、抗菌薬の使用に伴って、病原体が変化し、特定の種類の抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることです。現在、薬剤耐性によって世界では年間70万人が死亡しています。

私は数年前から県民の方へ薬剤耐性を防ぐための啓発活動をしています。が、「初めて聞いた」という多くの声をいただきました。策を講じないままだと約30年後には1千万人が死亡すると予想され、がんの死亡者数を上回る状況に迫っています。

昨年、国立感染症研究所などにより、日本で初めてAMRによる深刻な被害の調査報告が発表されました。薬剤耐性菌2種の敗血症に限っても年間8千人が死亡しており、AMRが大きな被害を及ぼしていることが明

抗菌薬 正しく理解して

29. 薬剤耐性

知ろう まもろう 抗菌薬

「かぜをひいたら抗菌薬」というわけではありません

「かぜをひいたらお医者さんに行って抗菌薬をもらおう」そんなふうに思いませんか？
抗菌薬は細菌に効く薬です。
ほとんどの「かぜ」の原因であるウイルスやインフルエンザには効きません。
抗菌薬を使うかどうかの判断は、診断を受けた医師の指示に従ってください。



薬剤耐性菌の啓発ポスター（国立国際医療研究センターAMR臨床リファレンスセンター提供）

らかにになりました。一人一人が抗菌薬の服用は薬剤耐性菌の発生につながります。AMRは世界的な問題となっており、「対策待ったなし」の状況です。現状を正しく認識し、社会全体で取り組んでいく必要があります。一番大事なのはきちんと予防することです。風邪やインフルエンザを予防するためには、手洗いやうがい、せきエチケットなどの一般的な予防策がととても大切になります。これらの予防策は新型コロナウイルス感染症の予防にも当てはまります。一人一人が意識して取り組んでいきましょう。（鹿児島県薬剤師会薬事情報委員・吉脇茜）

「令和2年3月10日（火）掲載（29. 薬剤耐性）」